

ICTの導入による働き方改革・働きがい改革の推進について

北茨城市立磯原中学校

1 ねらい

ICT を授業や業務全般で効果的に活用することによって、教師の働き方改革・働きがい改革を推進し、超過在校等時間の削減を図る、

2 実践内容

(1) 授業での ICT の活用

① ワークシートのデジタル化

ワークシートをデジタル化し、タブレット端末を用いて授業で使用している。授業者がワークシートを印刷する時間の削減につながった。

【導入前】	【導入後】	【削減時間】
ワークシートの印刷 10分	ワークシートの印刷 0分	1枚あたり 10分
10分 × 50枚 = 500分 ⇒ 年間8時間20分の削減		

② 振り返りシートのデジタル化

振り返りシートをデジタル化し、タブレット端末を用いて授業で使用している。授業者が振り返りシートを印刷する時間の削減につながった。

【導入前】	【導入後】	【削減時間】
振り返りシートの印刷 10分	振り返りシートの印刷 0分	1枚あたり 10分
10分 × 10回 = 100分 ⇒ 年間1時間40分の削減		

(2) 校務支援システム (C4th) の活用

校務支援システム (C4th) を活用し、今までは印刷していた職員に配付する文書等を、可能な限りデータで送るようにしている。担当者が文書を印刷・配付する時間の削減につながった。

○担当者の平均的な削減時間

15分 × 10枚 = 150分 ⇒ 年間2時間30分の削減

(3) Web 会議システム (Teams) の活用

Web 会議システム (Teams) のアンケート機能を活用し、生徒の実態調査やアンケート調査等を行っている。担当者が調査等を集計する時間の削減につながった。

【導入前】	【導入後】	【削減時間】
調査等の集計 30分	調査等の集計 0分	1回あたり 30分
30分 × 10回 = 300分 ⇒ 年間5時間の削減		

ICTの導入を通して、働き方改革・働きがい改革を推進する！